

圏域	但馬圏域
会議	地域医療構想調整会議 平成29年度 第2回
日時	平成29年9月7日(木)14:00～16:00
場所	豊岡総合庁舎 401会議室
議長	田中洋部会長(豊岡市医師会長)
出席者	別紙構成員名簿のとおり本人出席
議事次第概要	1 第7次保健医療計画の圏域計画の改定について (1)兵庫県保健医療計画の改定の概要(案) (2)但馬圏域重点推進方策(案)
内容	<p>議事1(1)(2)について、事務局より資料に基づき説明後、委員に意見を伺った。 また、会議後、団体として意見を出す場合は、指定期日までに意見票をメール又はFAXで提出いただくことを依頼した。</p> <p>第7次保健医療計画の但馬圏域重点方策(案)については、本日の意見と後日意見票で提出された意見を踏まえ、加筆・修正を加え、10月開催予定の次回会議で再度確認することとした。</p> <p>【主な意見・質疑】</p> <p>○但馬圏域重点方策(案)について (部会員)重点方策(案)に、次の内容を書き加えていただきたい。 ・5疾病の心血管疾患が抜けているが、高齢者の心不全が増えているので、それを重視する形で書き加える。 ・地域包括ケア病床の稼働には、リハ職の確保だけでなく、病院勤務の内科医、リハ科医師の確保も必要である。 ・兵庫県の医師数の南北格差が著しいので、県内の公立病院間での医師のローテーション制度を県で考えて欲しい。</p> <p>○がん対策について (部会員)5大がんの連携パスを国はどのような考えで推奨しているのか。 (事務局)国の医療政策全体からいうと、患者が発症から亡くなるまで病院に入院することはあり得ないので、病院と開業医の役割分担をしていくことを当たり前にしようとしている。進展するためには、病院と診療所が進め方を検討する場が定期的に必要と考える。</p> <p>○医療従事者の確保について (部会員)病院だけでなく街を知ってもらうために、病院見学と観光を兼ねた施策が考えられないか。</p> <p>○在宅看取りについて (部会員)豊岡市の在宅看取り率が高い理由は何かあるのか。 (部会員)いろんな意見があるが、実のところはっきりしたところはわからない。他市では、訪問診療をしながら最後の看取りは病院という例を聞くが、在宅看取り率が低い要因かもしれない。 (事務局)豊岡市は、訪問診療をしている診療所の数が多い。かかりつけ医と患者の長年の関係から、医師は大変だけれども訪問診療を続けているというところもある。往診と訪問診療で、在宅看取りの数字が異なるところもある。</p>
協議が調った事項	なし
次回以降の予定	平成29年10月12日(木)14:00～16:00 但馬圏域健康福祉推進協議会医療部会兼但馬圏域地域医療構想調整会議と但馬圏域医療機関等連絡会議との合同開催とする。